



2012～2013 年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

# やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/高桑 耐 幹事/大木健市 会報委員長/池田 弘

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: ENJOY ROTARY 絆、みんな仲良く、クラブの未来へ

本年度第11回 通算1265回 平成24年9月18日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	9/4 修正出席率
		57名	34名	68%	92%

ゲスト: 千田 毅ガバナー 柳澤幸輝地区幹事 ビジター: メーキャップ受付7名

## ガバナー公式訪問合同例会

### ★歓迎のあいさつ

### 高桑 耐会長



皆さん、こんにちは。本日は大変お忙しい中、大勢の方にガバナー公式訪問合同例会にご出席頂きまして誠にありがとうございます。

千田ガバナー、柳澤地区幹事、ようこそ豊川おいで下さいました。ありがとうございます。

豊川宝飯 RC のスポンサークラブが豊川 RC、豊川 RC のスポンサークラブが豊橋北 RC です。当クラブが孫クラブになります。この3クラブの合同例会を開催するのは初めてだと思います。このような時にホストを務めさせて頂くことができ大変光栄に思います。

ガバナーのお仕事は大変にお忙しいと思います。当地区は日本一大勢のロータリアンとクラブ数の地区ですのであらゆる面において大変だと思います。特に今年は、RI 会長が日本人であるということで、例年より色々 RI への協力事項があるかと思ひます。一年間大変だと思いますが、来年6月にリスボンで美味しいポルトガルワイン楽しめるように、そして“Touch the Rotary”な一年になることを祈念して歓迎の挨拶とさせて頂きます。本日はありがとうございました。

### ★ガバナーの紹介

### 柳澤幸輝地区幹事



こんにちは。私の感じる千田ガバナーの人の紹介をさせて頂きます。1996年に千田さんが名古屋東 RC の会長に就

任された時に、私が幹事を仰せつかりました。これが私のロータリーの運のつきでございます。最悪の事態に今陥っています(笑)。しかしながら、千田ガバナーは大変に心根の優しい方で、また明るい方ですので、何とかここまでではついてこられました。

千田ガバナーは、いろんなアイデアがどんどん泉のごとく湧き上がってくる方なのです。ほとんどは良いことですが、とても無理ということもたまにあります。何とか方向を変えてもらおうと思っても、一途なところがあり、お考えを変えて頂けません。言い換えれば、今の政治と違ってブレない方、それが千田ガバナーです。このブレない千田ガバナーを支えて私も頑張ってやっていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。

## ★ガバナーの卓話 千田 毅ガバナー



本年1年、ガバナーをさせて頂きます千田でございます。一年間お世話になります。よろしくお祈りを申し上げます。

ガバナーとして最初にやることは、サンディエゴに行って国際協議会に出席することです。ガバナーエレクトにロータリーを理解させる。そして地区の運営管理のノウハウを授ける会です。またガバナーエレクト同士が討議をして、ロータリーの色々な問題点を話し合い、ロータリーの資質向上、ロータリーの発展の為の会議です。

ガバナーはRIの役員として、ロータリーの任務と責務、RIの方針を伝える仕事があります。またRI会長テーマを皆さんに忠実に伝える役目もあります。国際協議会に出席することは大変でしたが、世界中のガバナーエレクトの皆さんとお知り合いになれたこと、勉強も非常に有意義なことでありました。こんな得難い機会を与えて頂きましたロータリアンの皆様には心から感謝を申し上げます。

RIのテーマについて申し上げます。ご存知のように「奉仕を通じて平和を」です。田中RI会長は、国際協議会の中でスピーチをされました。最初に生い立ちを話されました。日本の小さな山村の貧しい家庭の8人兄弟の4番目として生を受けました。ただ一つの楽しみは、月に一度、20キロ離れた市場に野菜を売りに行くお母さんと一緒に車を押していく道すがらであったと、それが全ての世界であった。その時にいつかは遠い世界に行って、外国の人々とお話をしたい。それが田中少年の夢であったそうです。今のお役に付いて本当に世界隅々まで行かせて頂き、世界中のロータリアンと親しく話ができる、とてもロータリーに感謝するということでした。

田中RI会長の言う平和は、戦争のような対決がなくなるような平和ではなく、国の平和、地域の平和、あなたの街の平和、あなたの家庭の平和、あなたの心の中にある平和、それを守り育てて下さい。そうすればきっと、ロータリーは発展するし、ロータリーアクティビティも出来ますと話されました。

RIの強調事項は、ロータリークラブと地区による平和活動。①クラブや地区の平和フォーラムを開催する。②地域平和フォーラムを開催する。③国際双子クラブによる協力関係を結ぶ。④ロータリー平和フェローを推薦する。⑤紛争の根底にある原因に取り組む奉仕プロジェクトを支援する。がある中で、私は①と②をやって参りたいと思っています。ガバナー補佐をお願いをしてIMの時に取り上げて頂くようお願いしています。各クラブの会長の皆さんには、例会の時に何らかの形で平和の話を取り上げて頂きたいと思います。もう一つは、ロータリー世界平和フォーラムの推進です。世界の3ヶ国で開催されます。ベルリン、ホノルル、広島です。ベルリンは国境のある街です。この街で「国境のない平和」と題して開催されることは意味があると思います。緑の多いホノルルで環境問題について「平和にいたる緑の道」と題して会議が開催されます。最後に広島です。広島は平和の砦であります。ここで平和フォーラムが開催されることは、非常に意義があります。特に田中RI会長は、このフォーラムには青少年に焦点をあてて、青少年とロータリアンが平和について語り合う場にしたいとお考えです。当地区も地区新世代委員会を通じて15名程の若い人を広島に一緒に行く予定をしています。また、ロータリアンの皆さんにも大勢のご参加をお願いしたいと思います。日本人の田中会長が開催するフォーラムですので、何としても成功させたいとガバナー会では思っております。

地区の運営については、当地区は日本でも世界でも非常に優秀な地区であります。私はこの地区を守り育てて、そしてより一層発展するように努力して参りたいと思っています。地区スローガンとして“Touch the Rotary ふれあい、思いやり、そして握手”とさせて頂きました。重点項目として、会員増強、東日本大震災被災高校生支援、地区内交流の活性化、オンツurisボンとさせて頂きました。

会員増強は、何度も何度も皆様をお願いしております。皆様方一人一人がお仲間を増やすことに尽きます。何卒よろしくお願い致します。

東日本大震災被災高校生支援は、大震災の時にイギリスの新聞は「我々が敬意を表してやまないのは、日本の政治家・官僚ではない。ただの普通の日本人のありように対してだ。

日本人の気高さ、あの混乱の中でも、自分の物をみんなと分け合い、支援物資や食事を順番に並べられた東北の方々には、ただただ頭が下がります。」とイギリスの新聞は世界に発信しました。東北の気高さが世界の心を打ったのです。そして世界から色々な手助けが届きました。私も昨年、被災地を訪れる機会があり、被災地を目の前に言葉がありませんでした。何とか東北の方を手助けがしたいと思って起ち上げたのが、ワンコインのプロジェクトです。毎月500円ずつ出して3万円にして、それを30人の被災高校生に毎月届けるプロジェクトです。被災高校生の中には、両親を亡くした子どもたちがいます。その子ども達に、「あなたは一人ではないですよ。60人のお父さん、お母さんがついてきますよ。」それを伝えるプロジェクトにしたいと思っています。2520地区の岩手・宮城の小野寺ガバナーの協力を得て、このプロジェクトが始まりました。被災高校生の中から奨学生30人を選考頂き、来年の4月から岩手・宮城のロータリアンが一人一人に毎月3万円ずつを手渡すことになっています。とても大変なことです。松前年度にも、田嶋年度にも色々ご協力を頂きましたが、何とかしたいというのが私の想いですので、このプロジェクトが成功するように、どうか皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

地区内交流の活性化は、当地区は8分区82クラブあります。クラブにより色々特徴がありますので、相手のクラブと交流をして頂き、活性化を図って頂きたいと思っています。

最後にオンツurisボンをお願いします。日本人の田中R I会長が主催する世界大会です日本から3000人の参加目標をあげています。当地区は100名を目標にしています。現地では当地区のガバナーナイトを予定しています。来年6月22日午後6時、是非ともリスボンでお会いしたいと思っています。

“Touch the Rotary ふれあい、思いやり、そして握手”。あなたのロータリーに愛着を持って下さい。あなたの地区に、あなたのクラブに、そしてあなたの家庭に愛着を持って下さい。それは立派なロータリー活動です。そして、その愛着を持ったロータリークラブがより一層発展し、地区のNo.1になることを願っています。ご清聴ありがとうございました。

## ★謝辞

佐久間武美豊橋北RC会長



豊川宝飯 RC の祖父として、豊川 RC の親として、本日ご出席のロータリアンを代表して一言御礼の言葉を

述べさせていただきます。

地区協議会が4月15日にありまして、その時にガバナーにお会いして、今のようなお話を聞かせて頂きました。そして今日、会長幹事懇談会で、直接ご指導を受けました。千田ガバナーは、非常に温厚な方で親しみやすい方であるとわかりました。本日の卓話を聞いて、地区の方針“ふれあい、思いやり、そして握手”、特に握手というアクションを起こす方針を立てられたのは、ガバナーとして久しぶりではないかと思えます。ロータリアン同士が握手をしてふれあい、そして仲良く人生を歩んでいく想いが、ガバナーの想いではないかと思えます。

最後に、本日の会場設営にあたっては、豊川宝飯RC高桑会長はじめ、幹事様、関係者の方々にお骨折り頂きまして御礼申し上げます。ありがとうございました。

## ★会長幹事懇談会

例会開催前に会長幹事懇談会が行われ、ガバナーよりご指導を賜りました。ありがとうございます。



## ★ニコニコボックス

千田 毅ガバナー      ご祝儀を頂きました  
柳澤幸輝地区幹事      //

会報担当者：池田 弘会員、杉浦元保会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。